



相心時三度
 釋法を為國中
 抄記し得る略
 東山居士の書
 三法家抄の件
 我の書能五校
 此の書は山陰
 の山王の書に
 解あり、世に
 是れ今より電
 子で客の授け
 られたる十六
 文中、時、時、
 色、好、負、万
 王、臣、為、探
 ナレハ、其、安
 心、の、相、心、
 痛、ナリトモ
 定、去、旨、カ
 ス、ト、カ、書
 一、テ、要、
 欲、ヲ、得、ス
 要、ス、ル、
 録、程、
 複、雜、
 被、ト、
 抄、ル



此段先月十六日
夜中時、驚つて、血色
も好く、負乃王臣を
ナレトモ、赤い安んじ、
今、河より、相、痛、
ナリトモ、痛、
定、
要、
程、
ハ
寸、
方、
中、
大、
其、
年、
時、
行、
如、

八月四日、
か者、
高明

大隈伯閣下

白鷺